

令和六年二月二十六日開会

令和六年度池田町一般会計予算、特別会計予算
並びに企業会計予算提案説明要旨

令和六年度の町政に取り組む施政方針及び一般会計・特別会計並びに企業会計についてご説明申し上げます。

現在、我が国の経済情勢は、コロナ禍の三年間を乗り越え、改善しつつあるものの、三十年ぶりとなる高水準の賃上げは物価高騰に追い付いておらず、個人消費は依然、力強さを欠いております。また、国立社会保障・人口問題研究所が、二〇五〇年までの「地域別将来推計人口」を昨年公表し、日本の総人口は一億人超となり、地方の人口減少と高齢化が同時並行で加速度的に進行する一方、東京への一極集中は、一層深刻化すると予想しました。このため、政府は少子化対策としてこども家庭庁を創設し、こどもまんなか社会を目指しこども・子育て施策を推進しております。

こうした中、本町においても人口減少・少子化が予想以上に進んでいるとともに深刻化を増しており、それに付随する町の機能低下が懸念されます。人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがかねません。そのため、役場職員が百十二のアイデアを提案し、新年度は五施策を予算化したしました。「未来への投資」として、大学生まで養老鉄道通学定期乗車券購入助成金事業の拡充、不妊治療費助成制度、家事・育児のお助け制度の創設など、結婚・妊娠・出産・子育てに至るまで切れ目なく支援し、こども・若者・子育て世帯を対象に、少子化対策を強力に進め、町の機能を維持し、活力を損なわない、「未来へ繋ぐ持続可能なまち」を創造してまいります。また、体育館空調設備を順次整備し、児童・生徒の熱中症対策、災害時における安全・安心・快適な指定避難所としての機能も強化し、防災・減災に備えてまいります。さらに、地域の脱炭素化の推進、デジタル田園都市国家構想の事業推進など、時勢を捉え、躊躇なく機動的に事業を行い、地域創生につなげてまいります。

令和六年度においては、第六次総合計画の中間見直しの年にあたります。厳しい財政状況が続くなか、長期的な視点を持ちつつ、これまでの取り組みを検証して、財政計画を見直し、喫緊の課題にも対応しながら、公共施設の老朽化対策・再編統合や指定管理者制度の活用など進めながら、安心・安全なまちづくりを積極的に展開していく方針ですので、議会におかれましてもご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町の令和六年度予算規模についてですが、

一般会計	百億	八百万円
国民健康保険特別会計	二十億六千七百万円	
後期高齢者医療事業特別会計	四億	九百万円
温泉施設特別会計	二億五千四百万円	
小水力発電事業特別会計	八百万円	
土地取得特別会計	一億八千	万円

で、総額百二十九億二千六百万円の前年度対比 六億一千万円（四・五％）減の予算で、一般会計は過去最大規模といたしました。

それでは、町の重要施策と予算の概要についてご説明申し上げます。

初めに一般会計についてご説明申し上げます。

歳入について、町税のうち町民税につきましては、社会経済活動が前向きな動きが進みつつある中、緩やかな持ち直しが続き企業収益や個人所得の増により、個人及び法人分で増加が見込まれるものの、固定

資産税については、三年に一度の評価替えに当たり、減収が見込まれ、町税全体では前年度対比で〇・四％減の三十一億四十二万二千元を計上しました。

地方交付税につきましては、国における地方財政計画の増減率を勘案し、前年度対比五・四％増の二十億九千三百万円を計上しました。

寄附金につきましては、前年度対比九・五％減の四億一千三百六十九万二千元を計上しました。そのうち、ふるさと納税につきましては前年度対比十一・一％減の四億円を見込んでいます。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金で五億円、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で二億五千万円を計上しました。

町債につきましては、池田中学校体育館空調設備整備に係る事業債が増加することにより、前年度対比十七・二％増の五億七千七十万円を計上しました。

それでは、歳出について申し上げます。

総務部において、総務および消防防災関係では、庁舎エレベーター修繕工事等を実施し、公共施設の長寿命化を進め、消防団の機能強化に努めてまいります。これらに関する予算として九億二千五十万二千元を計上しました。

公共交通関係では、養老鉄道にて通学する高校生を対象とした通学定期券の購入費助成事業を、新たに大学生等の通学者も対象とするなど、制度の拡大をおこない養老鉄道の利用を促してまいります。昨年十月より実施しておりますタクシー利用助成事業（いけタク）を本年度も引き続き実施してまいります。

地域振興関係では、池田東地区公園整備事業としまして、東地区の各種イベントに対応できるよう、また、災害時における緊急避難場所としても利用できるよう、駐車場を含む緑地公園を令和五年度より三か

年の計画で整備してまいります。

ふるさと納税につきましては、町のPR、産業の活性化、貴重な財源の確保として本年度実績を上回れるよう積極的に取り組んでまいります。まちづくり事業、移住定住促進事業、広報活動など複合的に取り組んでまいります。これら、企画関係に関する予算として十億六千六百二十五千円を計上しました。

税務関係では、町税等賦課事務電算業務委託事業及び、森林環境税に係るシステム業務委託事業に一千九十三万九千円、土地家屋の現況調査及び土地評価事業に七百六十四万三千円を計上しました。

次に民生部において、戸籍住民関係では、戸籍・住民記録・印鑑の届出や証明書の発行、戸籍の附票のフリガナと旧氏の表示によるシステム改修、住民基本台帳ネットワークシステムの更新作業など、これらに関する予算として三千二百二十四万二千円を計上しました。

環境関係では、地域による空き家等の適正管理活動に対し処分費などの手数料負担を昨年度に続き実施します。また、一般廃棄物処理基本計画に基づき、北部と南部のリサイクルセンター両施設を拠点として、プラマーク、製品プラスチックなどのリサイクル資源の回収を促進し、ごみの減量化を一層進めてまいります。これらに関する予算として四億四百二十七万三千円を計上しました。

社会福祉関係では、障がい者の生活介護や就労支援を行う自立支援給付事業、障がい児の発達支援や放課後等デイサービス事業を行う障害児福祉サービス事業、十八歳以下の児童や重度心身障害者等の医療費を負担する福祉医療扶助事業など、これらに関する予算として八億九千六百七十八千円を計上しました。

児童福祉関係では、子育て支援として、すくすく赤ちゃん券支給事業、放課後児童クラブや児童館の運営事業、こども園等運営事業などを実施し、これらに関する予算として、十三億七千二百六十八千円を計上しました。

高齢福祉関係では、七十九歳以上の方を対象とした敬老の日記念事業など行い、介護保険関係では、揖斐広域連合より受託し全高齢者を対象とした介護予防・日常生活支援総合事業などを実施してまいります。後期高齢者医療関係では、岐阜県後期高齢者医療広域連合への医療給付費等に係る負担金など、これらに関する予算として七億七千三百八十六万四千円を計上しました。

母子保健関係では、アウトリーチ型の産後ケア事業に加え、近隣産科医療機関に委託して宿泊型とデイサービス型の実施も開始し、心身のケアや育児サポート等、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援体制の充実を図ってまいります。また、保険を適用して行った不妊治療及びそれに伴う男性不妊治療に對して支払った医療費について、県補助金助成後の全額を助成し、経済的負担の軽減を図ってまいります。これらに関する予算として、三千四百五十二万四千円を計上しました。

成人保健関係では、国のがん検診指針に基づき実施している四十歳以上を対象とした胃部エックス線検査による胃がん検診に加え、五十から六十八歳の二歳刻みの年齢を対象とした胃内視鏡検査を導入し、受けやすい環境の整備に努めてまいります。これらに関する予算として、二千四百五十二万七千円を計上しました。

予防事業関係では、子どものインフルエンザ予防接種にかかる費用の一部助成の対象を、生後六か月から中学三年生までだった者を高校三年生までに拡大し、妊婦を加え、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減及び子育て支援体制を充実させてまいります。これらに関する予算として、五千九百一十九千円を計上しました。

次に建設部において、農業振興関係では、全国的に農業従事者の高齢化や後継者不足、これらに伴い耕作放棄地が増大しており、地域農業の担い手の育成・確保、農地の集積・集約化は喫緊の課題となってい

ます。これらの課題解決に向け、新規就農者支援や担い手農家等への機械導入助成を行ってまいります。また、茶業の振興に関しては、県や農協と連携し、茶業従事者の技術向上や後継者育成、耕作放棄地対策を進めてまいります。さらに、多面的機能支払交付金を活用し、農道や水路などの地域資源の環境保全を推進してまいります。これらに関する予算として九千九十五万五千円を計上しました。

林業振興関係では、森林環境譲与税基金や清流の国ぎふ森林環境税を活用し、森林経営管理制度に基づく意向調査や里山林の整備、大津谷登山道の改修などを行い、森林環境を整備してまいります。また、ニホンジカの個体数調整や鳥獣防護柵設置などの有害鳥獣対策を実施してまいります。これらに関する予算として四千八十万二千円を計上しました。

観光振興関係では、大津谷公園キャンプ場の指定管理事業や池田山麓遊歩道の整備、霞間ヶ溪花畑の植栽管理事業により、観光施設の維持管理を行い、観光客の増加を目指してまいります。また、2回目の開催となります「ONSENガストロノミーウォーキング」の実施、広域観光に於いては、「西美濃広域観光推進協議会」などの取り組みを活用して、観光PR活動を実施してまいります。商工関係では、商工会への補助事業の他、創業や特産品開発など支援するための補助制度を継続し、商工業者を支援してまいります。これらに関する予算として七千五百二十三万九千円を計上しました。

農業農村整備関係では、県営事業での農業用施設の補修・改良を進め、団体営農、県単事業などの補助金を受け、農道整備、かんがい排水事業を進めてまいります。これら農地関係予算として一億一千三百四十七万円を計上しました。

林道関係では、県単池田明神線開設工事、維持工事を引き続き実施します。これらに関する予算として五千九百二十三万五千円を計上しました。

土木関係では、充実した生活基盤の整備を目指し、町道や河川の整備・維持管理を図ってまいります。主な事業では、社会資本整備総合交付金事業、緊急自然災害防止対策事業、道路メンテナンス事業、緊急浚渫推進事業などの交付金、並びに起債事業を活用し、社会基盤施設の長寿命化を進めてまいります。地籍調査では、藤代Ⅱ、Ⅲ地区を引き続き行い、新規に片山北Ⅰ地区の事前調査を進めてまいります。

近年増え続ける空き家の対策として、空き家等対策計画を基に効果的な施策の展開をすると共に、危険空き家等の除却に補助制度も活用し、実効性のある対策を実践してまいります。これらに関する土木費予算として四億五千八百四十八万三千円を計上しました。

道の駅池田温泉については、開駅から約十二年八ヶ月が経つ中、家族で楽しめる芸術系のイベントをはじめ、池田温泉や町内外の諸団体などとの連携イベントの実施、各メディアなどを活用した様々な情報発信により、町の観光拠点、地域振興施設としての役割を充実させ、年間三十四万二千人の利用者数を目指します。これらに関する予算として三千四百六十六万四千円を計上しました。

次に教育委員会において、学校教育関係では、小中一貫した福祉教育、及び話すことを主眼とした英語教室などの外国語活動、並びに中高連携したキャリア教育に取り組みます。また、児童生徒一人一台パソコンの授業への利用については、学習支援ソフトを活用して取り組んでまいります。

小学校入学祝い金、小中学校給食費の無償化を継続してまいります。県の少子化対策事業予算において、高等学校入学準備助成金事業に取り組み、子育て世代を支援します。また、通学路の防犯安全対策として、防犯カメラ設置事業では新規に十五台を計上し、総設置台数五十三台体制とし強化してまいります。

学校における脱炭素化推進事業三か年計画の二年目とし、宮地小学校の照明器具LED化により、二酸

炭素の削減に取り組みます。また、小中学校の特別支援教育支援事業、少人数学級支援事業を継続し、学校間交流事業として、インターネット環境を利用した交流以外に、人流による意見交換会を行い、視野が広げられるよう、学校間移動に伴う運転委託料を計上しました。

国の緊急防災・減災事業債を利用した池田中学校体育館へ空調機を設置すると共に、各小学校体育館へ空調機設置等のための設計委託料を計上し、避難所の環境整備に取り組むと共に、体育授業等における熱中症対策に取り組みます。

学校整備費では、温知小学校音楽室の改修や宮地小学校のプール改修などを計上し、学校施設の環境改善に努めてまいります。

保健体育費、学校給食費については、小中学校全ての児童生徒を対象にした給食費無償化事業費を計上し、子育て世帯への支援の充実をはかります。以上、学校教育関連予算として、八億八千六百十一万七千円を計上しました。

次に、生涯学習関係では、中央公民館地下の高压受変電設備改修工事はじめ各施設の経年劣化が激しい箇所を改修し、安全な施設管理に努める一方、脱炭素化推進事業の一環として八幡公民館及び西公民館のLED照明設置工事を進めてまいります。また、中央公民館や地区公民館等で二百九の講座・教室を開催して、町民の生涯学習振興を図ります。

青少年関係では、青少年育成推進員・少年補導員等による、子どもたちの安心・安全な育成を推進いたします。文化財保護関係では、郷土資料の収集、調査等を進めてまいります。これらに関する予算として、一億三千三百九十七万九千円を計上しました。

総合体育館では、池田公園テニスコートLED照明取替工事など快適なスポーツ環境の整備を図り、誰

もがそれぞれの体力や年齢、目的に応じていつでもどこでもスポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指して取り組んでまいります。これらに関する予算として一億三千七十万三千円を計上しました。

図書館では、図書館資料の充実、読書活動の推進を図る啓発事業を進めてまいります。また、施設の長寿命化対策として図書館外壁防水改修工事を、学習スペース環境整備事業として電源を利用できる学習スペースを設置し施設利用者への利便性を図ってまいります。これらに関する予算として一億八万八千円を計上しました。

次に、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。

業務内容としては、保険料率の決定、賦課・徴収等を行い、平成三十年度から国保運営の中心的な役割を担う県に納付金を納め、医療給付費等の支払業務や、特に生活習慣病対策であります特定健康診査事業につきましては、その受診率を五十%とする目標を定め、受診者の方には温泉券の配布、未受診者の方には直接案内するなど積極的な勧奨に務めてまいります。また、従来の健康保険証の廃止に伴うマイナ保険証の普及啓発に努めてまいります。これらに関する予算として二十億六千七百万円を計上しました。

後期高齢者医療事業特別会計についてご説明申し上げます。

市町村の事務としては、岐阜県後期高齢者医療広域連合への負担金の納付や、保険料の徴収、各種申請・届け出の受付などの窓口業務を行ってまいります。保健事業につきましては、ぎふ・すこやか健診や、ぎふ・さわやか口腔健診の受診率の向上を図るため、国民健康保険の特定健診事業と同様に務め、マイナ保険証についても普及啓発に努めてまいります。これらに関する予算として四億九百万円を計上しました。

次に、温泉施設特別会計についてご説明申し上げます。

池田温泉は、平成八年の本館開業以来、二十七年四ヶ月が経つ中、その泉質の良さから、数々のメディアに紹介され、東海地方だけでなく関西方面からも利用者が訪れる温泉として高評価を得てまいりました。令和六年度も引き続き、今まで以上に安心して安全な施設運営に配慮しつつ快適な空間の提供に努めるとともに、温浴関連オリジナル商品の通信販売など売上げ増を目指してまいります。また、更なる接客サービスの上昇に努め、年間利用者数三十五万人の目標達成と経営の安定化を目指してまいります。

主な事業内容としましては、本館・新館周年記念イベントのほか、毎月のイベントの拡充など、工夫をこらしたソフト事業も実施してまいります。また、源泉ポンプ入替工事、本館旧物産販売所改修工事、新館浴槽改修工事を行います。これらの予算として二億五千四百万円を計上しました。

次に、小水力発電事業特別会計についてご説明申し上げます。

小水力発電事業は、農業水利施設の持つ再生可能なエネルギーの有効活用と農業施設の維持管理費軽減と低炭素社会づくりに寄与するため、平成三十年四月より稼働し、六年を経過しましたが、今後も適切な維持管理に努め、効率的な施設利用を進めるために、八百万円の予算を計上しました。

土地取得特別会計についてご説明申し上げます。

昨年度に引き続き、池田町北部工業団地造成事業を継続し、企業誘致の推進を図るため、今後町内企業で規模拡大等を要望される企業への支援も行っておりまゐります。本年度は、第六期造成事業の予算として、一億八千万円を計上しました。

次に、水道事業会計についてご説明申し上げます。

水道事業は、将来にわたって安定的に事業の継続が必要不可欠なライフラインであるため、経営の効率化を進めつつ、安全・安心な水を供給するために、施設の維持管理、更新に努めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に三億一千四百四十万五千円、収益的支出に二億九千四百九万七千円、資本的収入に六億一千七百二十六万二千円、資本的支出に七億四千七百十四万九千円をそれぞれ計上しました。次に、農業集落排水事業会計についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、七処理区が供用されており、生活環境の向上と公共用水域の水環境の再生・保全に寄与しております。これら処理施設の維持管理等に関する予算として収益的収入に四億七千九百十三万一千円、収益的支出に三億一千六百四十三万円、資本的収入に百九十六万円、資本的支出に一億六千四百六十六万一千円をそれぞれ計上しました。

公共下水道事業会計についてご説明申し上げます。

公共下水道事業の池田処理区は、平成十五年四月から供用開始され令和五年度末には、六百十六・八ヘクタールが整備され、進捗率は九十二・七％となります。令和六年一月末現在で接続率は約六十・五％の状況であります。公共マスへの接続を積極的にお願ひし、接続率の向上に努めてまいります。池田浄化センターにつきましては、適正な維持管理や運営に心掛け、健全経営に努めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に七億一千四十六万一千円、収益的支出に五億五千三百六十八万三千円、資本的収入に一億三千八百二十三万九千円、資本的支出に二億九千五百一万七千円をそれぞれ計上しました。

以上、議第十八号から議第二十六号まで一括提案申し上げます、令和六年度の町政に取り組む施政方針及び、一般会計・特別会計並びに企業会計予算の提案説明と致します。